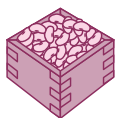


図書館だより



休館日…毎週月曜日
臨時休館日(蔵書点検) …2日(木)～8日(水)
祝日開館日…11日(土) 9時～17時

★蔵書点検があります

蔵書点検は、図書館の所蔵データと現物を一致させるための作業です。この期間、図書館業務用コンピューターは、データを固定しておかなければならないため、貸出・返却・新着資料の受け入れ作業などはできません。

★なぜ長期間休館にするの？

蔵書約23万冊のほか、雑誌や視聴覚資料があります。その資料一点一点のバーコードを読み取って所蔵データと照合します。

蔵書点検は、新鮮で魅力ある蔵書構成を維持し、利用者の皆さんがお求めの資料を正しく迅速に提供するために必要な作業です。

休館中はご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

★おはなし会(八日市場図書館)

11日・18日・25日(土) 14時から約30分間

問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

★ドリームキッズ(のさか図書館)

日時…25日(土) 10時30分～

内容…本の読み聞かせなど

問 若林 ☎67-5965

市政の窓

No.19



市長就任後、「年始め」と「年度始め」を強く意識するようになりました。1月は年の始めでありますが、年度から申せばラストスパートへの突入月であります。

今年の年始回り、互礼会、新年会などのあいさつの口上は、異口同音に「昨年の大震災を振り返り今年こそは良い年に、そして昇り竜にあやかり…」と結ばれる。何回聞いても不思議と重複感や違和感がありません。

年度の集大成

戒めたところでもあります。

仕事始めの式、消防出初式、成人式、そうさ歳末ジャンボ宝くじ抽選会、健康マラソン大会などの新年恒例行事も無事に終え、ただいま多くの新年会ご招待への対応に大忙しであります。

すが、それらが終わってもスケジュール表は真っ黒に染まっている状態です。と申しますのは、前述したように、行政では年度を4分割し、3か月間を四半期ととらえ、その都度市議会(年4回)も開催されます。特に3月は年度の集大成の時期でもあります。また、平成24年度の予算編成、新規事業の中期基本計画など、重要案件をまとめていく仕事も山積しております。

新年会のおめでたくおいしいお酒ではありませんが、体調面を考慮し、1年で一番忙しい時期を乗り切れるよう頑張る決意であります。

匝瑳市長 太田安規

文芸コーナー

短歌

秋の日のつるべ落しの夕暮れに柊の花白くこぼるる

若潮町 伊藤登美枝

千両の実日毎に朱色勝りつつ晩秋の陽に照り映えてをり

高 石井 房代

畑より土手に放られ根付く葎今年も咲けり野の花のごと

飯倉台 多田佐智子

雨の降る寒き日は部屋籠り老いはわびしく人を恋うなり

平木 大木ヨシ子

朝まだきそっと開けたる西窓にうつすら淡き月の残れり

上谷中 加藤 八枝

冬の蚊の活発なるも姿なし痒みで気付く刺されたることに

八日市場イ 鈴木 和子

久々に生家を訪ねしかえり道草の茂みに虫のすだける

時曾根 南波 鹿子

災難に出合いてぞ知る人の心世界は一つと甥は語りぬ

椿 日色 和江

抜き抜かれ箱根路駆くるランナーのたすきに思ふ大学の絆

栢田 渡辺 重雄

上着一枚増せば動きのきこちなしされど大掃除気合を入れむ

野手 石田 秀子

初春の日射暖かくさしこめば心あらたに年を寿ぐ

野手 佐藤 晃子

若きナース男言葉になりし後「ごめん」と言ひぬカルテも笑まむ

今泉 小川みさ子

俳句

初空や抱きとる嬰の足力

高 中村 和子

西野 棠雨 推薦

土屋 耕一 推薦

川口 城司 推薦

大蛇まつり

時曾根を歩く

匝瑳 探訪

— 69 —



ワラで作られた大蛇（時曾根区）

1月から2月中旬にかけて市内でも地域ごとにいろいろな年中行事が行われています。2月8日は「事八日」とよばれ、この日が1年の農事始めの日と考えられ、節分と同様に春を迎える行事が行われています。

時曾根区（豊栄地区）では、この日集落への3か所の入り口

にワラで作った大蛇をつるす「大蛇まつり」が行われます。

時曾根村の成立はおおよそ400年前と考えられ、1745年の記録には家数15軒・人数99人・馬6匹とあります。1628年に飯倉村の主税という人が新田開発し、「時曾根村」と名付けたとする説もありますが、支配の記録からもそれ以前に集落ができていたことは確かです。

1832年の記録によると、集落周辺の開墾が1700年以降に進められ、村高が倍に増えたとされていますが、人数65人・馬4匹と84年前に比べ減っていました。領主への年貢米は、現物納で野尻（銚子市）まで馬車で運び、そこから利根川を上り舟便で江戸に運んだとされます。農閑期に男は縄やムシロを編み、女は木綿稼ぎをしていた、と当時の農民

の暮らしが知られます。

同村は当時の平均的規模の村より小さかったことで、現在の会所跡にあったと見られる吉広寺という寺も小庵のようなもので、鎮守も飯倉境の母子（横芝光町）の子安様にお参りしていました。そうしたなかで、村びとたちは1700年代には「庚申講」「十九夜講」「光明講」などを作り、一体感をもって暮らしてきました。そして2月8日に村の入り口に大蛇をつるし、村内に悪霊などが入らないようにと、1年の平安を祈る行事が続いているのです。

筆者が市内の集落に伝わる伝統行事の調査を始めた40年ほど前、この行事については特に呼び名がなく、県内では同様のものが、「辻切り」「道切り」などと呼ばれていました。しかし、地域の長老とされる人たちと語り合うなかで、「時曾根の大蛇まつり」と名付けることにし、新聞などに話題を提供しました。それから10年ほどして県内の出版物などに掲載、紹介され知られるようになり、当時を思い起こすと感慨深い行事といえます。

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080

朽ちし香の一切経蔵笛鳴けり
箱根路のたすきをつなぐ年始め
新年の波息づいてる船屋
甘露煮の鮎を崩さず小晦日
霊峰の富士より明ける初御空
紅筆や一息入れる喜寿の春
袖摺の松を飾りて初茶の湯

川口 城司 推薦

栢田 伊藤 定子
堀川 高野 操
今泉 野仲 妙子

川柳

高梨 果宝 推薦

被災地で海の男は再起する

飯塚 鈴木ツネ子

今年こそ背すじを伸ばし颯爽と
不況の世暮らし精粗を心掛け
米寿など通過点だと気合入れ
しぐれ降る上野へマヤに逢いに行く
美味しい酒飲める健康だけでいい
はげまされいたわり合って進む春
世のために尽くすと誓う二十の日

八日市場イ 関川 幸子
八日市場イ 常世田やす子
八日市場イ 森 あつし
春海 久米 喃喋
八日市場イ 鈴木十世志
八日市場ホ 大木波津恵
八日市場ホ 鎌形ミツエ

川口 城司 推薦

お年玉ひ孫元氣でおめでとう

川辺 加瀬 きよ

匝瑳市秘書課広報広聴班

あて先： 匝瑳市秘書課広報広聴班

☎ 289-2198

匝瑳市八日市場ハ793番地2

☎ 73・0080 FAX 72・1114